

夏祭り 中止のお知らせ

毎年の恒例行事「夏祭り」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止や来場者及びご利用者様の健康と安全を最優先に考え、開催を中止させていただきましたこととなりました。

地域の皆様やご利用者様にも楽しみにしていただいておりますが、かねてより開催に向け準備を進めてまいりましたが、終息の兆しが見えない中で予測のつかない緊急事態に苦渋の決断をせざるを得ない状況となりました。

皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解、ご協力をお願いいたします。

夏祭り実行委員会



山の日とは2014年に制定され、2016年1月1日施行の改正祝日法で新設された祝日です。山の日とは1996年に新設された「海の日」以来、20年ぶりに新設された祝日。これまで祝日の制定が無かった8月に、初めて制定された祝日です。

「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日」とされています。しかし、祝日制定の根拠となる、山に関する出来事などがあつたわけではないようです。2020年は、東京五輪が予定されていたため山の日8月10日に移動します。8月8～10日は土曜日と日曜日、山の日が連続するため3連休です。

祝日の制定がないのは6月だけ？8月に祝日できたことで年間をとおして祝日が制定されていない月は、2018年時点で「6月」だけでした。しかし、令和を迎えたことで天皇誕生日が12月23日から2月23日移動し、祝日がないのは、6月と12月に

ご利用者様募集中

在宅での生活を様々な角度からサポートする為の女性スタッフが3名います。

現在、ご利用者様を募集中です。在宅での生活でお困りの方や高齢者を介護されるご家族の方などの

ご相談をお受けいたします。是非お問い合わせ下さい。お電話お待ちしております。

在宅介護支援センター
☎(0584) 73-4007(直通)



8月の理美容の予定

5日(水)
9日(水)
25日(火)



編集後記

今年もはや7月になりました。いよいよ夏本番。梅雨明けが近づき、本格的な暑さが始まります。例年、梅雨の終わりごろには、梅雨前線の活動が活発となり大雨が降りやすくなるそうです。大雨といえば、九州地方や県内では飛騨地方での、大雨は記憶に新しいところです。あの光景を見ると、いつ発生するか分からない自然災害のために、日ごろの備えが必要だと感じますね。

広報紙は、ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.bijyukai.dr-clinic.jp>



あおぞら

2020年 8月号 (第271号)
老健西濃だより
編集・発行
医療法人薬城会 老人保健施設 西濃
発行責任者 施設長 佐々 寛己
〒503-0893 大垣市藤江町6-3-1
☎(0584) 78-6050

工作クラブ "うちわ作り"



6月24日(水)、工作クラブを行いました。新型肺炎コロナウィルス感染予防のため中止していたので久しぶりの開催です。

梅雨に入りムシ暑い日が続きます。少しでも涼しくなるように“うちわ作り”をしました。絵具を使って折り染めをしました。色鮮やかできれいなうちわが出来ました。うちわを仰ぎながら「気持ちいい風だね」と言っていっぱいしました。

あらゆるシーンや用途で利用されているうちわですが、その語源は害を羽で打ち払うことを指す「打ち羽(うちわ)」であり、さらに「団扇」の漢字のルーツは中国にあるそうです。また、実はうちわの歴史は古墳時代にまで遡るなど、非常に長い歴史を持っています。戦国時代には軍配団扇として、明治時代には広告媒体としてなど、その歴史の中で様々な使われ方をしてきた万能な道具だそうです。



100歳のお祝い



当施設に入所されている児玉銀三郎様が7月15日に百歳を迎えられ、誕生日当日に大垣市の介護保険課の方がお祝いに来てくださいました。花束をいただいて嬉しそうでした。施設からもお祝いの言葉と担当フロアーの職員から色紙やプレゼントをお贈りしました。



7月7日は七夕の日でした。施設でも笹に飾り付けをして、願い事を短冊に書いて飾りました。七夕にちなんだイラストのぬりえをしたり、デイのご利用者様は大きな天の川を作ってくださいました。素敵な作品が出来上がりました。七夕の由来は、皆さんもご存知の織姫・彦星の星物語から始まります。新暦の7月7日はまだ梅雨のさなかで今年も雨でしたが、旧暦の七夕は現在の8月なので夜空もきれい。月遅れで東の空を見上げてみてはいかがでしょうか。

切り絵教室

デイでは、毎週火曜日と土曜日に「切り絵教室」が開催されています。ご利用者様と一緒に職員も作品作りを行っています。ご存知の通り、切り絵は手先を使う細かい作業です。手先を動かすことは、脳を活性化させることに繋がります。楽しみながらできる認知症予防。これぞまさにぴったり！と思いませんか？誰かと一緒にやることで、自然と会話が生まれて、それもまた脳への刺激になるのです。会話こそ、一番の認知症予防とも言えますから。

